

はじめに

英語が世界共通語になりつつある現状を反映し、以前はごく一部の留学希望者のみに知られていた TOEFL も、今では多くの大学・各種学校の英語の授業に教材として取り入れられてきており、評価基準としても広く用いられています。英語能力検定試験として TOEFL が世界中で通用する理由は、ほぼ半世紀にわたって研究開発されてきた設問の質の高さと、英語力を最も適切に評価できるその様式によるものでしょう。

2006 年から日本でも TOEFL iBT 形式が採用され、リーディング、リスニング、ライティングに加え、スピーキングを含む総合的な力が求められるようになりました。学術的な内容のパスセージを読み、講義や会話を聞いて得た情報に基づいて英語で話したり、書いたりすることは、難易度が高い半面、言語運用の自然な形です。つまり、iBT に向けた勉強は、真の英語力の向上につながるという大きなプラス面があります。また、会話やディスカッションを含む講義のリスニングでは英語文化を学ぶこともでき、より自然なコミュニケーションの確立に役立ちますので、海外に留学、就職する予定のない方にも学習をお勧めします。

本書は、初めて TOEFL に挑戦される方のために各セクションのテストの流れと TOEFL テストの全容をわかりやすく解説しています。高得点を目指す方は、詳述されている問題の傾向と解答の対策、及び各セクションの章末で述べられている英語の学習法を参考にして、確実なハイスコアの獲得を目指していただきたいと思います。

本書の作成にあたり、多くの助言と協力をいただいた先輩そして同僚の先生方である、Joseph Amato、Arquimedes Canedo、Curtis Patterson、Mathew Varghese、Sean Wray、岡留聡子、斉藤洋果、鈴木慎、高橋基治、松田麻里、宮本隆昭、山崎陽子、そして写真撮影にご協力いただいた Zachary Niederhauser、Kimberlie Ward、CD 収録に御協力いただいた Chris Koprowski、Jack Merluzzi、Rachel Walzer（以下敬称略、アルファベット / 五十音順）に心より御礼申し上げます。

そして、長期にわたり忍耐強く編集製作を担当してくださったジャパントイムズ編集局の遠藤沙都子様には格別の感謝を捧げます。また伊藤秀樹様、市原豊様はじめ同局の皆様のご尽力に心より御礼申し上げます。

2010 年 10 月

著者

CONTENTS

はじめに	003
TOEFL テスト概要	005
本書の構成	010
Chapter 1 対策編	
Reading Section	011
Chapter 2 対策編	
Listening Section	039
Chapter 3 対策編	
Speaking Section	071
Chapter 4 対策編	
Writing Section	095
Chapter 5 実践模試編 問題	
Reading Section	120
Listening Section	142
Speaking Section	159
Writing Section	164
Chapter 6 実践模試編 解答と解説	
Reading Section	168
解答一覧	187
Listening Section	188
解答一覧	224
Speaking Section	225
Writing Section	254
巻末付録 Appendix	266

編集協力	千田智美
装丁	森裕昌
本文デザイン・DTP	福岡裕介（日本アイアール）
録音	ELEC 録音スタジオ
ナレーター	Chris Koprowski / Jack Merluzzi / Rachel Walzer

TOEFL テスト概要

TOEFL iBT とは

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は英語を母語としない人々の英語運用能力を測るための総合的な英語の試験で、主に英語圏への進学や就職などを希望している人々を対象に180カ国以上の国々で実施されています。英語圏のみならずヨーロッパやアジアの国々への進学などの目的でも活用されており、TOEFLのスコアを進学希望者の英語力が十分であるか否かを判断する基準としている教育機関は5,000校以上にのぼると言われています。同時に、海外で活動する予定がない人にとってもTOEFLは自分の英語力を国際的な基準で測る有効な手段です。

開発された当初は、筆記試験形式のPBT (Paper-Based TOEFL) でしたが、その後コンピュータ方式のCBT (Computer-Based TOEFL) に移行、さらに2005年からはインターネットを使って受験する現在のiBT (Internet-Based TOEFL) 形式になりました。日本でも2006年から全面的にiBT形式が使用されています。

TOEFL iBT の特徴

1. 英語圏の大学に進学した学生が実際に経験することになる大学の講義や大学での日常会話などを想定した問題が出題されます。
2. 文章を読み、その文章と同じトピックに関する講義や会話を聞き、その内容を踏まえてスピーキングやライティングを行うといった、複数のスキルが総合的に試される「統合型問題」(Integrated Questions) が導入されています。
3. 過去にあった英文法の独立セクションはなくなり、文法力は英語を適切に運用する能力の基礎としてすべてのセクションで判定されることになりました。
4. 英語でのコミュニケーション能力が重視され、読み書きに卓越しているだけでは高得点が取れなくなりました。スピーキング・セクションが新設され、質問に口頭で解答することが要求されています。

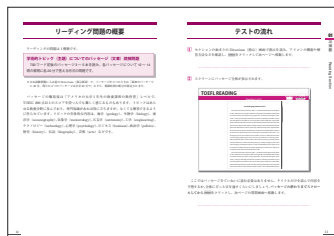
本書の構成

対策編

リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの各セクションを「問題の概要」「テストの流れ」「質問タイプと解答の手引き」「学習法」の順序で詳しく解説しています。「質問タイプと解答の手引き」には例題を収録しています。例題を実際に解きながら問題タイプ別の解説を読むことで、より高い学習効果が期待できます。

収録問題数

- リーディング・セクション： パッセージ 1 題
- リスニング・セクション： 講義 1 題、会話 1 題
- スピーキング・セクション： 単独型問題 1 題、統合型問題 2 題
- ライティング・セクション： 統合型問題 1 題、単独型問題 1 題

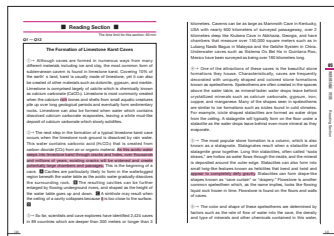


実践模試編

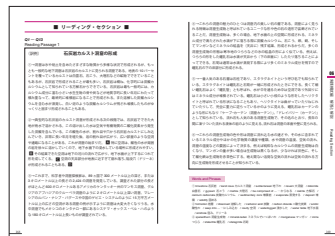
実際の試験と同レベル、または少し難易度の高い設問の模擬試験を 1 回分収録しています。リーディング・セクションとリスニング・セクションには、解説の最後に解答一覧を設けています。スピーキング・セクションとライティング・セクションでは、高得点の解答例を 2 例ずつ挙げ、評価のポイントを具体的に説明しています。模擬テストを所定の時間内で解き、問題と解説の見直しにじっくりと時間をかけて取り組んでみましょう。

収録問題数

- リーディング・セクション： パッセージ 3 題
- リスニング・セクション： 講義 4 題、会話 2 題
- スピーキング・セクション： 単独型問題 2 題、統合型問題 4 題
- ライティング・セクション： 統合型問題 1 題、単独型問題 1 題



問題



解答と解説

Chapter 1

対策編

Reading Section

リーディング問題の概要

リーディングの問題は1種類です。

学術的トピック（主題）についてのパッセージ（文章）読解問題

700ワード前後のパッセージ3～5本を読み、各パッセージについて12～14問の質問に各20分で答える形式の問題です。

*なお試験問題に入る前のDirections（指示画面）で、パッセージが3つのときは「最初のパッセージに20分、残りの2つのパッセージは合計40分」などと、制限時間の配分が指定されます。

パッセージの難易度は「アメリカの大学1年生の教養課程の教科書」レベルで、TOEIC 800点以上のスコアを持つ人でも難しく感じるものもあります。トピックはあらゆる教養分野に及んでおり、専門知識があれば役に立ちますが、なくても解答できるように作られています。トピックの具体的な内容は、地学（geology）、生物学（biology）、海洋学（oceanography）、気象学（meteorology）、天文学（astronomy）、工学（engineering）、テクノロジー（technology）、心理学（psychology）、ビジネス（business）、政治学（politics）、歴史（history）、伝記（biography）、芸術（arts）などです。

テストの流れ

- 1 セクションの始まるのDirections（指示）画面で指示を読み、アイコンの機能や解答方法などを確認し、**CONTINUE**をクリックして次ページへ移動します。

- 2 スクリーンにパッセージ全体が表示されます。



ここではパッセージをていねいに読む必要はありません。タイトルだけを読んで内容を予想するか、全体にざっと目を通すくらいにしましょう。パッセージの終わりまでスクロールしてから**CONTINUE**をクリックし、次ページの質問画面へ移動します。

質問タイプと解答の手引き

質問のタイプ

リーディング・セクションの質問には、主に以下のタイプのものがあります。

質問のタイプ	出題数 (1パッセージあたり)	配点	
内容一致問題	3～6	1点	→タイプ1
内容不一致問題	0～2	1点	→タイプ5
言い換え問題	0～1	1点	→タイプ2
指示語問題	0～2	1点	→タイプ3
語彙問題	3～5	1点	→タイプ4
筆者の意図問題	0～2	1点	→タイプ6
推測問題	0～2	1点	→タイプ7
文挿入問題	1	1点	→タイプ8
要約完成問題*	1 (最後)	2点	→タイプ9

*要約完成問題の代わりに、パッセージ内の異なる情報を比較し図表を完成させる「構成問題 (3～4点)」が出題されることもあります。

解答の手引き

実際のテストに類似したパッセージと問題を使って、上記の各質問タイプとその解答のコツを検討してみましょう。

The Challenging Definition of Life

パラグラフ①

Since **they** were discovered in the late 1800's, scientists have learned much about viruses, which are microscopic collections of genetic material that cause illness in human beings and other living organisms. The Russian biologist of the 1890's, Dmitry Ivanovsky was the first scientist to identify and isolate viruses even though he was unable to see viruses due to their small size. Using a filter which eliminates bacteria, he tried to filter disease germs from liquid extracted from leaves infected with tobacco mosaic disease,

and confirmed the filtered liquid was still infectious due to previously unknown microscopic agents which became known as viruses. Decades later, scientists were finally able to observe an actual virus when the electron microscope was invented in the 1930's. As biologists pursue virus research, the question of how to define life becomes increasingly perplexing because viruses are defined as not being alive. Although viruses fail to meet criteria of life which are met by animals, plants, and even bacteria, it seems intuitively wrong to casually classify viruses in the same category as inanimate objects. A clear understanding of life seems to be necessary for further biological studies, especially as researchers continue to encounter newer and more unusual forms of life.

(訳例)

生物を定義することの難しさ

①→1800年代の終わりにウィルスを発見して以来、科学者はウィルスについて多くのことを学んできた。ウィルスとは、人やほかの生物に病気をもたらす遺伝物質の微視的な集合体である。1890年代のロシア人の生物学者、ドミトリー・イワノフスキーは、ウィルスが微小で見ることができなかったものの、ウィルスの存在を認め、分離した最初の生物学者だった。彼はバクテリアを除去するフィルターを使って、タバコモザイク病に感染した葉の抽出液から病原菌をろ過しようとし、のちにウィルスとして知られるようになる、それまで知られていなかった微小な病原体が含まれているために、ろ過された液体にまだ感染力があることを確認したのだ。数十年後、1930年代に電子顕微鏡が発明され、科学者たちはついに実際のウィルスを観察することができた。生物学者がウィルスの研究を進めるにつれて、生物をどう定義するかという問いは複雑さを増している。なぜならばウィルスは無生物として定義されているからだ。ウィルスは動物、植物のみならずバクテリアにさえあてはまる生物の基準を満たしていないが、生命のない物体と同じ範疇に適当に分類してしまうのは、直観的に間違っているように思われる。特に研究者たちが新しく普通ではないタイプの生物に遭遇し続けていることを考えれば、更なる生物の研究のために、生物についての明確な理解が必要だと思われる。

Words and Phrases

virus ウィルス / microscopic 顕微鏡的な、微視的な / genetic 遺伝の / identify 確認する、識別する / isolate 分離する、隔離する / eliminate 除く、除去する / germ 細菌 / extract 抽出する / infect 感染させる / pursue 追求する / define 定義する / perplexing 複雑な / criteria (< criterion) 基準 / meet (基準などを) 満たす / inanimate 無生物の / encounter 遭遇する

Chapter 5

実戦模試編 問題

Reading Section

Listening Section

Speaking Section

Writing Section

■ Reading Section ■

The time limit for this section: 60 min

Q1 ~ Q13

The Formation of Limestone Karst Caves

①→ Although caves are formed in numerous ways from many different materials including ice and clay, the most common form of subterranean cavern is found in limestone karst. Covering 10% of the earth's land, karst is usually made of limestone, yet it can also be created of other materials such as dolomite, gypsum, and marble. Limestone is comprised largely of calcite which is chemically known as calcium carbonate (CaCO_3). Limestone is most commonly created when the calcium rich bones and shells from small aquatic creatures pile up over long geological periods and eventually form sedimentary rocks. Limestone can also be formed when water which contains dissolved calcium carbonate evaporates, leaving a white mud-like deposit of calcium carbonate which slowly solidifies.

②→ The next step in the formation of a typical limestone karst cave occurs when the limestone rock ground is dissolved by rain water. This water contains carbonic acid (H_2CO_3) that is created from carbon dioxide (CO_2) from air or organic material. As this acidic water seeps into limestone karst through cracks and holes, over thousands and millions of years, existing cracks will be widened and create potentially large chambers and passages. This is the beginning of a cave. **A** Cavities are particularly likely to form in the waterlogged region beneath the water table as the acidic water gradually dissolves the surrounding rock. **B** The resulting cavities can be further enlarged by flowing underground rivers, and shaped as the height of the water table goes up and down. **C** A sinkhole may result when the ceiling of a cavity collapses because it is too close to the surface. **D**

③→ So far, scientists and cave explorers have identified 2,424 caves in 89 countries which are deeper than 300 meters or longer than 3

kilometers. Caverns can be as large as Mammoth Cave in Kentucky, USA with nearly 600 kilometers of surveyed passageway, over 2 kilometers deep like Krubera Cave in Abkhazia, Georgia, and have chambers that measure over 150,000 square meters such as in Lubang Nasib Bagus in Malaysia and the Gebihe System in China. Underwater caves such as Sistema Ox Bel Ha in Quintana Roo, Mexico have been surveyed as being over 180 kilometers long.

④→ One of the attractions of these caves is the beautiful stone formations they house. Characteristically, caves are frequently decorated with uniquely shaped and colored stone formations known as speleothems. Speleothems are often created in the spaces above the water table, as mineral-laden water drops leave behind crystallized minerals such as calcium carbonate, gypsum, iron, copper, and manganese. Many of the shapes seen in speleothems are similar to ice formations such as icicles found in cold climates. For example, icicle shaped stalactites are formed as water drips from the ceiling. A stalagmite will typically form on the floor under a stalactite as the water drops leave behind even more mineral as they evaporate.

⑤→ The most popular stone formation is a column, which is also known as a stalagnate. Stalagnates result when a stalactite and stalagmite grow together. Long thin stalactites, often called "soda straws," are hollow as water flows through the inside, and the mineral is deposited around the outer edge. Stalactites can also form into small twig-like features known as helictites that bend and twist and appear to completely defy gravity. Stalactites can form drape-like shapes known as "cave curtain" or "drapery." Flowstone is another common speleothem which, as the name implies, looks like flowing liquid rock frozen in time. Flowstone is found on the floors and walls of caves.

⑥→ The color and shape of these speleothems are determined by factors such as the rate of flow of water into the cave, the density and type of minerals and other chemicals contained in this water,